

現行遊技機検討会

新調査をもとに検討展開作業急ぐ

キヤンペーンも

遊技産業活性化のため、スリーアップ層や初心者を対象にした新しい遊べる遊技機の創造を話し合う、

全日遊連、日遊協、日工組による現行遊技機検討会が12月11日、東京・市ヶ谷の全日遊連会議室で開かれた。今後の進め方として、告

知キヤンペーンのネーミングを早急に決め、1月28日に予定されるパチンコ・パチスロ産業21世紀会

へ計画の概要を提案する方向で検討を急ぐことを確認した。検討会には3団体の幹部、実務者等24人が出席した。

まず、望ましい遊技機の性能を

絞り込む検討材料として、Webアンケートの結果が報告された。

同アンケートは検討会の実務者（全日遊連、日遊協）11人、日遊

協遊技機委員会メンバー（ホール、遊技機メーカー、その他業種）9人の計20人を対象に行なわれた。4円パチンコを前提に、「最低出玉はどうくらい必要か」の問題に対し

「200個（800円相当）から250個（1000円相当）」の回答

が一番多かった。

「初当たりに対する平均TY」については「約500個（初期投資額

20000円）から約750個（同3000円）」、いわゆる「2連チャンから3連チャン程度」とする回答が優勢で、「それ以上の継続数は最初に取り組む『遊べる遊技機』に関しては必要ない」とのイメージだつた。「初当たりまでの初期投資額設定の上限」については、「3000円まで」が一番多く、

高くとも「5000円まで」となっていた。「出玉のある大当たり確率の下限」については、「30分の1」に集中していた。

告知キヤンペーンについて、「みんなでパチンコホールへ行こう！キヤンペーン」（仮）と題する14

～16年の中長期的プランが提案された。目標は、①業界内外に広く告知して、エンドユーザーに近隣ホールへ足を運んで頂く②業界に対する不ガティティブイメージを払拭する——としている。



全日遊連、日遊協、日工組の3団体が協議した現行遊技機検討会

25日、茨城・阿見ゴルフクラブで開かれ、日遊協会員、他団体組合

東京都・関東支部役員会 3件の事業報告と計画 西村支部長「課題山積、致団結して」

東京都・関東支部役員会議は12月6日、本部会議室で開かれ、西村拓郎支部長ら13人が出席した。西村支部長が「2014年は遊技

産業界にとって消費税問題等の重要課題が山積している。東京都・関東支部も一致団結して諸問題に取り組んでいきたい」と挨拶した。最近の事業として、①日遊協チャリティゴルフコンペ②支部セキュリティー対策部会の初会合③新経営者会議の第2回会合——の3件が報告された。

チヤリティゴルフコンペは10月

員ら計139人が参加、46万1000円のチャリティ募金が財日本盲導犬協会に贈られた。支部セキュリティー対策部会は11月20日、ホールを中心にメーカー、販社など支部会員企業の実務者32人が参加した。

新経営者会議の第2回会合は11月27日、ホール、メーカー等の若い経営者・幹部33人が一堂に会した。5班に分かれて5つのテーマで討論し、結果は2月に予定される第3回会合で発表される。

最後に2014年の行事計画を決めた。このうち支部総会は6月5日（木）、西新宿のハイアツトリージエンシー東京で、第25回日遊協通常総会と同日開催することを確認した。



セキュリティー対策部会の初会合などが報告された東京都・関東支部役員会議

台湾視察・社会貢献・環境対策委員会

環境関連の工場を見学 カジノ勉強

社会貢献・環境対策委員会を中心

心とした台湾視察団9人が12月4日、高雄市などで省エネ・環境設備関連の工場視察などを行なつた。

高雄市で長興科技有限公司の路竹工場を視察した。同工場は合成樹脂を主体にプリント基板や半導体材料、ソーラーセル用素材等を研究開発・製造している。また次世代技術の太陽光電池素材や太陽光フィルムの開発についても話を聞いた。同公司は台湾、中国、アメリカ、日本など22か所に工場を持つている。

台湾でのカジノ進出に関して、

台南市の嘉南薬理

科技大学で「台湾におけるカジノ発展の可能性」についての講義を受け、カジノ法、カジノ設置の動向、パチンコ店の法的権利等について説明を受けた。

◆嘉南薬理科技大学でカジノについて意見交換する、薛社会貢献・環境対策委員長(正面左から2人目、マイクを持っている)ら一行

台南市の烏山頭ダムを視察した。

同ダムは日本人技術者、故・八田與一氏の計画・監督で1920年に着工、30年に完成した。貯水池は農業用水として干ばつに悩む嘉南地域の農業を救った。八田氏は現在も台湾で最も尊敬される日本人の1人とされている。

高雄市でパチンコ店「九福」を訪れた。店内には日本のパチンコを改造した機械が400台近く設置され、100人近いお客様で賑わっていた。パチンコ機は花の慶口機は南国物語、ジャグラードだ

数年前の機械が多くた。パチスロ機は南国物語、ビックキー・ヤンス等だった。

同理事会に引き続いて第8期臨時社員総会が開かれ、理事選出の件を審議し庄司孝輝日遊協会長を理事に選任することを承認した。

同理事会に引き続いて第8期臨時社員総会が開かれ、理事選出の件を審議し庄司孝輝日遊協会長を理事に選任することを承認した。

NPO法人リカバリーサポート・ネットワークが12月9日、沖縄県から認定NPO法人の認定を受けた。RSNを支援

庄司新理事は「お客様に対する利便性を追求していきたい」と挨拶した。NPO法人リカバリーサポート・ネットワークが12月9日、沖縄県から認定NPO法人の認定を受けた。RSNを支援しているパチンコ・パチスロ産業21世紀会の構成14団体は、かねてから認定NPO法人に向けた条件整備に協力していた。西村直之R

SN代表理事は「私たちの活動が、より社会の健やかな発展に役立つよう、スタッフ一同取り組んでいきたい」と抱負を述べた。

認定NPOに認められる リカバリーサポート・ネットワーク

貯玉補償基金理事会＆総会 補償や事業会費など承認

一般社団法人 貯玉補償基金（代
表理事・深谷友尋日遊協相談役）

は12月4日、東京都千代田区・グ
ランドアーツ半蔵門で第52回理事

会を開き、3議案を審議した。

第4回パチンコエッセー・絵手紙コンクール
募集要項はこちら

「日遊協」で検索！

日遊協
ホームページ
更新情報

ECO遊技機説明会

コスト全般で質疑 本体から運用面まで

「ECO遊技機に関するホール5

団体説明会」が12月11日、日遊協本部会議室で開かれた。説明側は遊技機・ユニットメーカー3団体

で、日工組・筒井公久副理事長はじめP.S.A.、認証協から6人、説明を受けるホール関係団体側は全

日遊連・青松英和理事長、日遊協・庄司孝輝会長はじめ同友会、余暇進、P.C.S.A.から37人、計43人が出席した。

会議はホール側が提出した質問事項に、遊技機・ユニットメーカー側が答える形で進められた。この中で、ECOシステム導入時に必要となる要素の想定コストが説明された。

おもな想定コストは次の通り。

1 ECO遊技機 ハスタンダード枠は10万円未満。オリジナル前飾りはメーカー毎に異なる。

2 ECO遊技盤 メーカー毎に異なる。

3 ECOユニット ハ15万円未満。

リースなども視野に入れ、初期費用の負担を極力減らす。



ホール関係5団体、遊技機・ユニットメーカー3団体の代表者・幹部が出席したECO遊技機に関する説明会

中古機流通協議会 点検補助員の規程を検討 3か月の稼働実績など報告

第85回中古機流通協議会（委員

長・阿部恭彦全日遊連副理事長）

は12月9日、全商協会議室で開かれた。9～11月のパチンコ、回胴式の中古用稼働実績と認定申請の

状況が報告された。

パチンコの中古用稼働実績は、9

月が4万5206件（前年対比88

%）・8万3973台（同78%）、10

月が5万0339件（同98%）・8万

9665台（同87%）、11月が4万5

321件（同88%）・8万1339台（同77%）と全般に落ち込んだ。

一方、回胴式の中古用稼働実績は、9月が2万0675件（同11

7%）・3万9110台（同99%）、10月が2万2294件（同104

%）・4万1333台（同85%）、11

月が2万2576件（同113%）・4万1423台（同98%）だった。

ホールに点検補助員制度を新設する件で、点検補助員に関する規程、実施要領の各文案、これに関連する中古機流通健全化要綱等、既存の規定類の部分改正案（第3次案）が提出され、議論した。

8万3000円で、VPNルータに依存するものの1契約で2～6回線まとめて使用可能。VPNルータはメーカーにより異なるが6本分割で概ね7万5000円。

6 遊技球 ハ磁石に反応しない玉。台あたり概ね5000円。

7 研磨カセット ハ6か月間使用を目標に、台あたり概ね3000円。

8 ホールコン接続BOX ハ概ね4000～5000円。下げる方向で検討中。

9 カードメーカーの管理コンピュータ ハ社によつて異なるが、ソフトもしくはハードの修正が発生する。費用は各社で検討中。

10 島研磨機、ジェットカウンター ハ不要となる。

特許は日工組で管理

このほか、「ECO遊技機本体の耐久年数は、特別なモデルエンジ等をしない限り3年以上として製造する」「ECO遊技機、ECOユニットなどの特許については日工組で管理する」「将来のECOスロットを考慮に入れ、日電協と協議を行つていい」——などが回答された。

21 日遊協 14-1月号

健全化推進機構が文書

ホール団体等に注意喚起 各台計数機の異常確認時で

一般社団法人遊技産業健全化推進機構（河上和雄代表理事）は12月2日、ホール関係5団体（全日本遊連、日遊協、同友会、余暇連、PASA）と一般社団法人プリペイドシステム協会（PASA）、一般社団法人電子認証システム協議会（認証協）に、「各台計数機」の異常計数事案への対応について」と題する文書を発し、機構の検査で各台計数機に異常が確認された場合は、島端等に設置してある計数機と対応が若干異なる部分がある旨、注意を呼びかけた。これを受けて日遊協は翌3日、ホール会員宛に同様文書を発し、周知徹底を要請した。

機構の文書によると、機構の立入検査で各台計数機に異常が確認された場合、交換する各台計数機（カードユニット）が正常に稼働するか否かの確認を、PASA、認証協の両団体に所属するメーカーが行うとしている。

その上で機構等の対応手順は、①機構検査要員は各台計数機に異常を確認したら、各台計数機「交換要請書」（機構検査部作成）と「各台計数機動作確認書」（PASA、認証協の両団体作成）を当該ホールに渡す。②当該ホールは異常が確認された各台計数機のメーカーに「保守コール」を行う。③当該メーカーのサービス要員が来店しホール内に保管してあるカードユニットと交換、動作を確認して異常がなければその結果を「各台計数機動作確認書」に記入する。④当該ホールは各台計数機を交換した際の「変更届書」、機構検査要員が記入した各台計数機「交換要請書」の写し、メーカーのサービス要員が記入した「各台計数機動作確認書」の原本を、管轄する警察署に提出する——となつていて。この対応は、今年1月1日以降から実施。

インターネット広告協議会 健全性で差別化明確 他の3つのサイトと比較

パチンコインターネット広告協議会（日遊協、凸版印刷株、IMC（株）で構成）は12月6日、日遊協本部会議室で開かれた。「パチンコのチラシPowered by Shufuo!」の9、10、11月の掲載枚数が報告された。9月2665枚、10月2474枚、11月2394枚で、夏ごろの3000枚の大台から減少した。警告件数は9月3日～12月6までの期間22件で、すべて直して再入稿された。



チラシ掲載枚数が報告されたパチンコインターネット広告協議会

部会議室で開かれた。「パチンコのチラシPowered by Shufuo!」との大きな差別化となることが指摘された。9月2665枚、10月2474枚、11月2394枚で、夏ごろの3000枚の大台から減少した。警告件数は9月3日～12月6までの期間22件で、すべて直して再入稿された。

不正対策室会議（室長・伊東慎吾）は12月20日、日遊協本部会議室で委員など12人が出席して開かれ、不正対策情報機構（PSIO）要綱の改訂について、最終的な不正対策室案を11月26日のセキュリティ対策委員会に提出したことが報告された。

PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について検討した。11月のPSIOオープンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は、業界から47件、一般ファンから559件の入力があつた。一般ファンの入力は、前年11月と比べると162件（前年11月437件）増えている。ゴトは依然として玉掛けたりや玉、メダルの持ち込みが多く、ホール内の監視を強めることを確認した。不正情報では、遊技機の不審な作動、打ち子などの入力が目立つた。

不正対策室会議 不正から559件 玉掛けなど監視強化

封印シールを変更

日工組、セキュリティーを強化

日工組は11月26日、「ぱちんこ並びに回胴式遊技機の主基板封印シールの変更等について」と題する連絡を日遊協など関係団体宛に発した。

連絡によると、日工組組合員が製造するパチンコ、パチスロ遊技機に貼付している主基板の封印シールを、12月以降、セキュリティー強化のため順次変更していく。新しい封印シールでは2次元コード読取機能（カメラ機能）を持つ携帯電話等により、QRコードを容易に読み取れるとしている。従来のICタグ封印シールは専用の読取装置が必要だった。



全日遊連専務理事 片山晴雄氏が就任

吉原丈司専務理事が11月30日付で退任し、後任として

て片山晴雄氏

（写真）が12月

1日付で就任した。片山氏は1

948年生まれ。京都大学法学部卒。
72年警察入庁。同庁運転免許課長、

岡山県警本部長、皇宫警察本部警務部長、警察庁長官官房首席監察官、四国管区警察局長を歴任した。

3か月ゴト報告と検討

中部支部セキュリティ対策部会

● TEL、FAX変更
▼ 株式会社オリンピア
TEL 03・3835・7011(代)
平和本社ビル
東京都台東区東上野1・16・1
■ 11月25日
■ 12月1日

● 代表者変更
▼ 株式会社ビーポケット
代表取締役・界久保眞
■ 10月1日

会員・業界消息

及び中部遊商との情報交換会議が11月26日、名古屋市のアイリス愛知で開かれ、日遊協から山口悟支部長、内ヶ島隆寛対策部会長ら26人、中部遊商からは神保重孝気秋山照明対策委員長が出席した。9月から11月までのゴト事案が報告され、パチンコでは台叩き、釘曲げ、玉掛かりなどのローテクゴトが多く、パチスロではショートゴト、クラジット上げが中心となっていた。年末が近づきメダル持ち込みや盗難案件が増えているので注意を徹底することが確認された。

DATA SPOT

前年比220店舗減、低下さらに加速

全日遊連は12月16日、店舗数、遊技機台数の2013年11月分を発表した。店舗数は前月比で29店減となり、2か月連続で30店舗以上の減に次ぐ大幅減となった。1万9350の店舗数は、年間ペースだと前年11月（1万1155店）と比べて、この1年間で220店舗マイナスで、低下傾向がさらに加速している。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス5万3941台（前年11月280万3659台）と下がり続けている。一方パチスロ機はプラス4万7505台（前年11月142万850台）と相変わらず前年比増を保っている。29か月続けていた前月比増は9月に途切れたが、11月は272台増と前月並みとなった。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

(2013年11月30日現在)

全日遊連 加盟店舗数 ・遊技機台数

| 平成25年 | 営業店舗数 | 新規店舗数 | 廃業店舗数 | 休業店舗数 (当月発生分) | 遊技機台数 | | | |
|-------|--------|-------|-------|------------------|-----------|-----------|------|-----------|
| | | | | | ぱちんこ遊技機 | 回胴式遊技機 | ※その他 | 総台数 |
| 1月 | 11,171 | 17 | 34 | 118 (11) | 2,805,774 | 1,441,076 | 156 | 4,247,006 |
| 2月 | 11,137 | 7 | 37 | 119 (11) | 2,798,348 | 1,441,295 | 156 | 4,239,799 |
| 3月 | 11,089 | 8 | 52 | 125 (20) | 2,786,704 | 1,444,068 | 156 | 4,230,928 |
| 4月 | 11,093 | 37 | 41 | 113 (12) | 2,789,874 | 1,454,733 | 156 | 4,244,763 |
| 5月 | 11,069 | 13 | 30 | 116 (18) | 2,780,418 | 1,459,448 | 156 | 4,240,022 |
| 6月 | 11,040 | 20 | 43 | 123 (23) | 2,773,587 | 1,459,781 | 156 | 4,233,524 |
| 7月 | 11,042 | 18 | 19 | 115 (10) | 2,773,309 | 1,466,536 | 156 | 4,240,001 |
| 8月 | 11,033 | 17 | 35 | 107 (7) | 2,771,022 | 1,471,142 | 156 | 4,242,320 |
| 9月 | 10,994 | 6 | 43 | 110 (12) | 2,762,085 | 1,470,669 | 156 | 4,232,910 |
| 10月 | 10,964 | 8 | 38 | 105 (11) | 2,753,558 | 1,468,083 | 156 | 4,221,797 |
| 11月 | 10,935 | 9 | 28 | 114 (10) | 2,749,718 | 1,468,355 | 156 | 4,218,229 |

貯玉補償基金加盟状況

| | 店舗数 | 前月比 |
|-----|------|-----|
| 北海道 | 242 | -1 |
| 東北 | 542 | +4 |
| 東京 | 586 | +1 |
| 関東 | 1627 | +5 |
| 中部 | 511 | +5 |
| 近畿 | 900 | +2 |
| 中国 | 293 | +2 |
| 四国 | 155 | 0 |
| 九州 | 624 | +1 |
| 全国計 | 5480 | +19 |